

じゃっと新聞

NO.48号

第15回定期総会の報告

発行日：2007.7.25

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

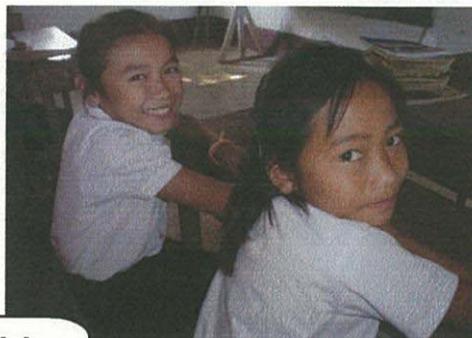
11-20

若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



ラオスっ子たち
SMILE!



第48号ごあいさつ

特定非営利活動法人じゃっと 理事長 小幡 順子

梅雨があけ、すがすがしい夏空が広がる季節となりました。ラオスは今、雨季の真っ只中です。この時期は農作業の邪魔にならないように、仏教関係行事は控え、お坊さんはお寺に籠るという季節です。

ラオスでの最大の仏教行事であるタットルアン祭りに合わせてスタディツアーを行なおうと総会で提案致しましたが、その後同時期に国際会議が計画されているとの情報が入り、理事会で検討した結果12月末実施に変更しました。祭りへの参加を楽しみにしていた会員の皆様にはご迷惑をかけますが、よろしくご承認ください。

また、総会でご承認頂いた学生のツアー参加については関係機関と連絡をとりながら準備を進めております。薩摩川内市在住、もしくは通学している

高校生・学生でボランティアや国際協力に興味のある方をご存知の方は、是非このツアーのことをご紹介ください。

12月末はラオスでも一番涼しい季節です。旅行に最適な時期に、従来の活動地である首都ビエンチャン周辺、そして今年度より活動地に追加されたチャンパサック県コーン島をまわるスタディツアーです。ラオス南部最大の観光地であるコーン島とその周辺は風光明媚で知られ、近くには世界遺産であるワットプー（アンコールワットで知られたクメール文明発祥の地）もあります。

ラオス南部を巡るツアーは観光ツアーではあまり見られないようです。会員の皆様、たくさんのご参加をお願いします。

◇◇◇ 第15回総会が行われました ◇◇◇

さる5月19日、薩摩川内市の「すこやかふれあいプラザ」にて、第15回じゃっと定期総会が行われました。神崎氏による司会進行のもと、小幡理事長あいさつ、帖佐事務局長による事業報告、宮脇事務局員による会計報告がそれぞれなされました。じゃっとスタディツアーへの学生参加（及び補助金支給案）や、今後の活動の展開方法について古田理事をはじめ、会員の方よりご意見頂きました。



- 写真上左 小幡理事長 あいさつ
スタディツアー時の視察等について報告
- 写真上右 宮脇事務局員 会計報告



- 写真下左 帖佐事務局長 昨年度の事業報告と、今年度の計画を発表。
- 写真下右 司会進行を務めてくださった神崎氏とご出席の皆様

※尚、じゃっとは一昨年、特定非営利活動法人（NPO）として承認され、昨年度以降、NPO法人として活動しています。今回、会員の皆様に「総会」への出席もしくは委任の意思をおたずねする葉書を出しましたのも、NPO法人としての規則に則ったものです。会員の皆様には、返事のお手数をお掛けいたしますが、このような事情ですので何卒ご了承のうえ、今後のご協力をよろしくお願い致します。

2007年度 じゃっとスタディツアーのご案内



表紙冒頭文にて、小幡理事長より説明がありましたように、今年度のスタディツアーを1-2月末に実施いたします。下記の計画（案）になっております。（詳細は後日決定）じゃっとスタッフとともに、ラオスの魅力と国際協力について理解を深める旅をしてみませんか。参加ご希望の方は、お気軽に事務局までお問い合わせください！お待ちしております。

		スケジュール	
1	12月23日	JR川内駅集合 ～ 福岡空港 ～ バンコク空港 ～ ウドンタニー空港 ～ ビエンチャン	ビエンチャン泊
2	12月24日	午前 村の見学 午後 対象校視察	ビエンチャン泊
3	12月25日	午前 対象校視察 午後 市内観光	ビエンチャン泊
4	12月26日	ビエンチャン ～ パクセ ～ コーン着	コーン島泊
5	12月27日	コーン島支援村視察	コーン島泊
6	12月28日	コーン島 ～ ワットポー観光 ～ パクセ	パクセ泊
7	12月29日	パクセ ～ ウボンラチャタニー ～ バンコク	
8	12月30日	バンコク空港 ～ 福岡空港 ～ JR川内駅解散	

2006年度事業報告

自 2006年4月～至 2007年3月31日

1. 組織

- ① 絵本部： 前年度と同様にシャンティから、ラオス語訳シールとともに、絵本を60冊購入した。
会員以外の人にも協力していただき、ラオスやじゃっどの活動に関心を持っていただいた。
- ② バザー部： ツアーで物品を仕入れた。各種イベントなどに積極的に参加し、
広報活動とともにラオス雑貨販売した。
- ③ 開発部： 鹿児島大学法文学部「国際交流のすすめ」、鹿児島県共生、協働センター運営協議会、
県内国際交流団体等意見交換会、NGO-JICA 相互研修、川内共生、協働推進大会、
アジア太平洋研修センター研修会などに参加、講義をした。
- ④ 広報部：
 - ・じゃっど新聞44号、45号、46号を発行した。国外の会員にはE-Mailで
ホームページ更新の連絡を入れて、アクセスしていただいている。
 - ・鹿児島県民交流センター、薩摩川内市交流センターにじゃっどのパンフレット、
机いす募金のパンフレットを置かせてもらっている。
 - ・プレート、じゃっどの旗を作成。
 - ・ペプシ鹿児島の自動販売機設置（若松記念病院、東郷温泉ゆったり館）

2. 国内事業

- ①じゃっどスタディツアー 2007年1月3日～7日
DEFCの図書館開講にあわせて、衛生教育のセミナーを実施した。
- ②じゃっどの12年間活動のCD作成
じゃっど新聞に紹介した。
- ③スタディツアー報告、タイカレー会 2007年2月18日

3. ラオスでの事業活動

スーパービジョンと寄付

- ・ **Nathair(ナテ)小学校**
自転車ポンプの故障が多く、部品も入手困難。電気が届いたので、電動ポンプに換えた。
校長先生の依頼により、机とイスを供与した。
- ・ **Nongkheng(ノンケン)小学校**
ノンケン小学校では、児童用の机とイス、教師用の机とイスを供与した。
- ・ **Tha Dinh Deng(タディンデン)小学校**
校長から校舎壁の材料の供与依頼。村人は労力を提供。生徒数は320名。村は307世帯1524人。

教師対象のセミナー：10月21日（2006）

ナテ小学校で教師のためのセミナーを開催。参加者はナテ小学校、タディンデン小学校の教師達15名。

2007年度事業計画

1. 組織

- ① 絵本部：継続。新規会員を増やす窓口になる。
- ② バザー部：ツアーで物品を仕入れる。
各種イベントなどに積極的に参加し、広報活動とともにラオス雑貨販売する。
- ③ 開発部：昨年に引き続き、以下を行う。
 - ・鹿児島大学法学部にて講義「国際交流のすすめ」
 - ・県内の国際交流活動に積極的に参加
- ④ 広報部：じゃっど新聞の発行、ホームページ、ブログの更新
パンフレットの作成、配布

2. 国内事業

ラオススタディーツアーの実施

2007年 12月23日～12月30日予定

“じゃっど”を鹿児島県内でもっと知ってもらうためにスタディーツアーを企画。

うち、参加者数名に対してはじゃっどが学生補助を支給、旅費を一部負担する。

3. ラオスでの事業活動

基本は、“じゃっど”活動の3本柱である

A：教師対象の健康教育、B：子供たちへの健康教育、健康診断、C：学校施設の整備、の継続である。
今年度の重点支援校は以下の学校とする。

ヴィエンチャン特別市近郊

1. ノンケン (Nongkheng) 小学校・・・建物建築を進める。トイレと4教室は完成。
残りの3教室と職員室がまだ出来ていない。
2. タディンデン (Thadindeng) 小学校・・・昨年度、学校建物の整備を行った小学校に
トイレを建設する。児童数320名。現在同じ敷地に中学校もあり、合わせると約500名の
子供たちに対して、トイレが2部屋しかない。8部屋分のトイレを新しく建設する。

チャンパサック県コーン島郡ドンロン島

3. ドンロンカン (Don-Long Kang) 小学校・・・トイレと水ポンプを建設。
教師へのセミナーを行う。77世帯の島に、トイレが7つしかない。
学校にトイレ建設と健康教育を行い、島全体への波及効果を期待する。

ナテ小学校 生徒数：176 欠席：21

タディンデン小学校 生徒数：320 欠席：129

NO	学年	児童数
1	1年生	21
2	2年生	31
3	3年生	36
4	4年生	29
5	5年生	38
	合計	155

No	学年	児童数
1	1年生	58
2	2年生	26
3	3年生	30
4	4年生	39
5	5年生	38
6	中学生	4
	合計	195

タディンデン小学校に寄付

タディンデン小学校にはあまり余裕がありません。

校長先生、村長、郡教育委員会から約7,745,000キップの要請が“じゃっど”にありました。

じゃっど現地スタッフのソムチット医師が要請の趣旨を検討した結果、立会人と共に修理費用額を見積もり、援助を決定いたしました。

チャンパサック県コーン島での活動

ドンロンカン (Don-Long Kang) でのトイレ設置。

ドンロンカン地区は、Khong 島地区に属する大きな島のひとつであるドンロン島の町。

・Don-Long kang (ドンロンカン) 小学校

じゃっど現地スタッフのコンサップ医師は、Don-Long Kang 島の現地調査において、彼の研究機関(ラオス国立公衆衛生研究所)の博士号クラスの学生たちへの指導を行いました。その際、Don-Long Kang 小学校の校長と村長と会合を持ち、地区の状況を見たコンサップ医師は、JADDO の協力を申し出ました。彼らに必要な予算額を記した要望書を作るように伝え、提出された要望書に応じて

5,000,000 キップを寄付しました。

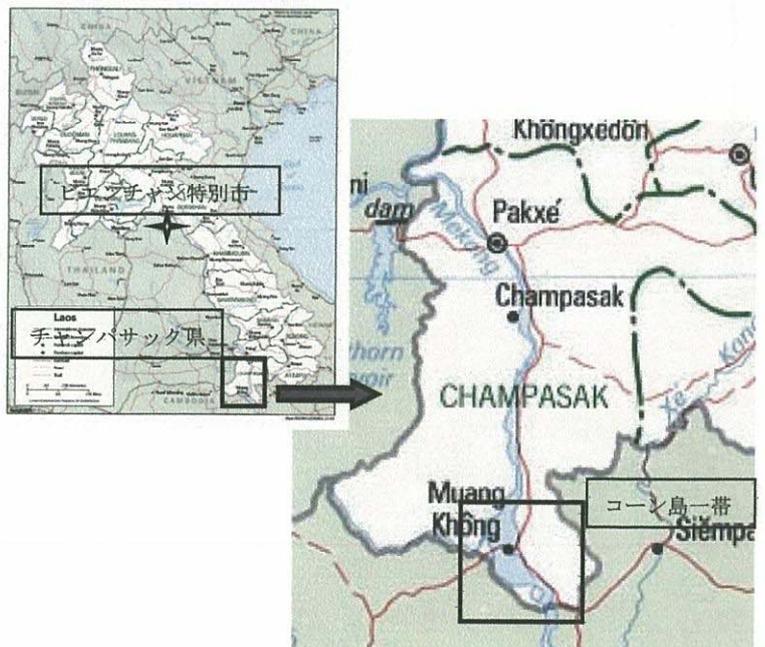
◆チャンパサック県コーン島とは・・・

チャンパサック県はラオス最南部の県。メコン川も下流になりますがその勢いは衰えず川幅は10~14キロにもなり、大小の滝が多く島の間を縫うようにして落ちていきます

その島の数は4000にもなるといわれ、そのためこの地区はSIPHAN-DONE (シーパン・ドーン)とも呼ばれます。

Siphon とは4000、Done とは島という意味。

コーン島は、この地区で最も大きな島です。



会計 2006年度収支決算書及び2007年度収支予算書

I 収入の部

科目		2006年度決算	2007年度予算
前期繰越収支差益		国内 2691002	国内 3169559
		ラオス 397313	ラオス 529075
会費寄付金	年会費	374,000	400,000
	寄付金(個人)	409,344	1,040,000
	九州電力、その他	663,560	0
	机いす募金	215,000	200,000
	助成金【薩摩川内市国際交流協会】	70,000	0
小計			
事業費	普及・啓発活動事業	155,045	700,000
小計		155,045	700,000
その他	利息	13	17
	雑収入	39,199	30,000
	バザー収入	174,950	200,000
小計		214,162	230,017
A 当期収入合計		2,101,111	2,570,017
B 収入合計		5,189,420	6,233,651

II 支出の部

科目		2006年度決算	2007年度予算
事業費	学校保健事業	110,484	1,000,000
	学校設備充実事業	253,673	1,000,000
	研修事業	55,581	700,000
	普及・啓発事業	544,541	1,000,000
小計		964,279	3,700,000
管理費	人件費	72,896	490,000
	事務消耗品費	110,600	70,000
	印刷製本費	30,871	30,000
	会議費	1,000	1,000
	通信費	176,772	200,000
	雑会費(他団体)	30,000	30,000
	雑費	6,900	100,000
	小計		429,039
雑貨仕入れ		85,614	100,000
バザー管理費		11,860	20,000
予備費			1,527,651
小計		97,474	1,647,651
C 当期支出合計		1,490,792	6,268,651
A-C 当期収支差益		610,319	
B-C 次期繰越収支差益		3,698,634	0

資産の部		負債と次年度活動準備金の部	
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産の部		1 流動負債	
①現金	48,117	①未払い金	
②郵便預金	2,948,264	②前受け金	
③棚卸資産	173,178	③預かり金	
④未収入金			
⑤仮払金	529,075		
流動資産合計	3,698,634		
		流動負債合計	0
2 固定資産		2 固定負債	0
		III 正味財産の部	3,698,634
合計		合計	3,698,634

監査報告

2006年4月1日～2007年3月31日の期間のじゃっどの決算に関し、事業は適正に実施され、収支計算書

及び貸借対照表、諸帳簿は、会計原則に基づいて作成され、監査の結果、確かに相違ないと認めましたのでここに報告します。

2007年5月17日 監事 安部良直

開発部より

～ 粘佐理子理事が鹿児島大学にて講義を行いました ～



6月21日・28日の二回にわたり、鹿児島大学で「国際協力のすすめ」と題した講義を行いました。じゃっどの立ち上げから現在までの活動の様子、ラオスの現状、世界の富の分布、国際協力に本当に必要なものは？・・・など、受講された学生さん達にとって、非常に興味深い内容だったようです。講義後の学生さんのレポートから、感想や思ったことなど、いくつかご紹介します。

●じゃっどの活動は手作り感や地域密着型であるような感じを受けた。住民と協力し、しっかりと理解されているところが良いと思った ●「じゃっど」というネーミングがとてもおもしろい。鹿児島弁が使われていることで親近感が沸く。じゃっどの応援をしていきたいし一度ラオスを見てみたい。●「じゃっど」は教師指導をするなどして、(現地に)教材が少ないところをうまくカバーしているなと思った。あと少し援助を行えばラオスの人々は自分たちの力で国を守っていくことができるように感じた。●ラオスの現状を良く知ることができました。日本では当たり前のことがラオスでは困難なこと。よく聞いてはいるものの、それで自分はどうすればよいのだろうか？という思いがあります。ただ、講義を聞いていくうちに、自分もやはり一度行って実感すべきだと思いました。日本だと生きていけるのに(途上国では)死んでいく人たちがいるということが、私は何よりもあってはいけない違いだと思っています。

●国際交流において、最も必要なものは語学でも知識でもなくコミュニケーション力だ、という話が強く心に響いた。授業で先生がお話されたように、大切なのは相手をありのまま受け入れ、自分たちとの違いがあっても、どちらも認める相対的な考え方が必要だと感じた。●粘佐先生のラオスに対する情熱がとても伝わってきた。話を聞く限り、写真を見る限り、まだまだ発展途上国だというのがわかる。でも、写真の子供たちはけっこう幸せそうに見えた。●「世界のどこでも中心になれる」という言葉に関心を持った。国際協力というとなかなか手の届かないものだと思っていたが、探してみれば自分ができることはいくらでもあると思った。もっと興味を持って自分にできそうなことを考えてみたい。(以上、鹿児島大学/受講生レポートより抜粋)

◆ラオス側活動報告（2007年1～3月）

5月の総会前に、じゃっどのラオス現地スタッフであるコンサップ医師、ソムチット医師より活動報告が届きました。
1月のじゃっどスタディツアーでの視察の様子、新たな活動地チャンパサック県コーン島郡についての要約版を掲載します。

A) 帖佐医師、小幡理事長来訪

2007年1月、帖佐理子医師と小幡順子理事長が視察に訪れました。じゃっどのプロジェクト校であるノンケン小学校、ナテ小学校を、じゃっどラオス現地スタッフであるコンサップ医師、ソムチット医師と共に訪問しました。そこで、机や黒板に寄付者の名前を記入し、ナテ小学校の教師達にジャケットを寄贈しました。その後タディデン小学校を訪問し、じゃっどの協力を受けて始まった学校の修復作業の進捗状況を視察。教師達はみな授業がしやすくなると、新しいコンクリート製の教室を喜んでいますが、教師達との会合の後、教室に「小さな医者さんプロジェクト」のシンボルマークを設置しました。

B) ドンロンカン地区でのトイレ設置

ドンロンカンは、コーン島地区に属する大きな島のひとつであるドンロン島の町です。コーン島はチャンパサック県（ラオス南部地方）最大の島です。ドンロンカンには77世帯が暮らしていますが、そのうちトイレを持つ家はわずかに7軒。そのため、肝吸虫病、十二指腸虫病、メコン住血吸虫症など寄生虫病の流布率が非常に高いのです。

コンサップ医師は、校長と村長に、トイレを設置した後もできるかぎり長く、維持に努めることを条件にじゃっどの協力を申し出ました。さらに、教師達が生徒たちにトイレ使用の大切さを教えること、衛生教育の重要性を認識してもらいました。



■完成した新トイレ！

（2007年6月）

じゃっどのシンボルマークが見えます。



■トイレ建設は村民の協力です
すすめられました。

ぜひ、きれいなトイレを維持してくださいね！

♪ さつまパイロットクラブ チャリティーパーティのお誘い ♪

日時＊平成19年9月1日（土曜日） 開場 17:00 開宴 18:00

場所＊城山観光ホテル エメラルドホール（鹿児島市）

ゲスト＊サキソフオン奏者 有村純親さん 会費＊ディナー付1万円



パイロットクラブとは、おもに働く女性を中心とした国際的民間奉仕団体です。「さつまパイロットクラブ」は現在24名の会員で運営しています。クラブの活動費は会費と会員によるいろいろな資金調達で成り立っており年に一度チャリティーパーティを行っています。パーティ会場では、障害者の施設等のバザーも行われ「じゃっど」のバザーも出店しています。このパーティの収益金の一部は、公募により公的支援を受けていないボランティア団体等に寄付されます。今回のゲスト、サキソフオン奏者の有村さんは、鹿児島出身で芸大大学院からパリ音楽院その他で学び、国際的に活躍中の演奏家です。美しい音楽と美味しいディナーを楽しめる素敵なおひととき・・・是非、ご一緒にいかがですか？ ◆チケットのお申し込みは一さつまパイロットクラブ・桑原（TEL099-252-8915・FAX099-252-8933）もしくは、じゃっど事務局理事・帖佐（TEL/FAX0996-27-0193）まで。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付 (2007年4月～2007年7月)

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。(以下敬称略)

- 新規会員 田中康代、吉岡えりか、泊亜希子(薩摩川内市) 武井美智子(鹿児島市)
- 平成19年度会費 瀬戸山弘子、平山健介、飯田和詳、田中律子、北住信子、柴こうこ、愛甲勝、山口典子、宇都弘子、杉元悦子、藤田静子、愛甲明実、内田耕也、泊亜希子、伊東ひとみ、田中康代、山下いそ子、(株)ハートフル、吉岡えりか、若松あつ、庵地紘一、古川孝子、増岡淳子、宮脇美智子、中野育子、帖佐理子、岩月洋孝、岩月たち子、松永良恵、牧田弘子、安部良宣、大山信子、大園孝子(薩摩川内市) 増田隆信、増田孝子(始良郡) 長友由紀子、米山史朗、桑原美智子、酒井マリ、馬場寛利、武井美智子(鹿児島市) 西村洋子(熊本県) 松元力、阿部雅昭、阿部貴美子、宇田川国男、帖佐徹(東京都) 森田由夫(埼玉県) 吉田いつ子、山内京子(広島県) 上原憲一、高坂紀子(出水市) 高橋真弓(いちき串木野市) 森田正人、藤島美由紀、サイヤ・キエンペット(愛知県) 小濱千枝(宮城県) 鳥山信子(千葉県) 橋本晴美(福岡市)
- 平成20年度会費 神崎侯至、山本澄子、帖佐久子、小林キヨ子、湯之谷チエコ、(薩摩川内市) 小屋一美、平屋四男(いちき串木野市) 上原憲一(出水市) 国田宏、宇田川国男、大熊昭晴、大熊京子(東京都) 内田和子(北九州市) 高野真綾(埼玉県)
- 寄付金 山本澄子、北住信子、小林キヨ子、山口典子、田畑福男、大重兼一(薩摩川内市) 鹿島友義(鹿児島市) 高橋栄子、松元力、阿部雅昭、阿部貴美子(東京都) 中村安秀(大阪府) 森田由夫、高野真綾(埼玉県) 吉田いつ子(広島県) 望月明子(神奈川県) 上原憲一(出水市)
- 机、いす募金 4口：望月明子(神奈川県)
2口：西村洋子(熊本県) 松元力、会田和子(東京都) 森田由夫(埼玉県) 小林義郎(東京都) 杉元悦子、小倉イソ(薩摩川内市) なんじゃろ会(鹿児島県) 中村律子(出水市) 大沼啓一、大沼順子(神奈川県) 山内京子(広島県) 高野真綾(埼玉県)
1口：山本澄子、下茂きぬ子、田畑福男、内田耕也、立島尚子、濱田タキ子、安楽佳人、岩下愛美、梅村有貴、岡田健、久保園守、黒田慎司、白石竜一、武田裕也、松永恵、安井美穂、山下愛、(薩摩川内市) 阿部雅昭(東京都)

高坂紀子(出水市) 石井秀享、岩崎弘造(宮崎市)

- 大口寄付 堀之内佳武(東京都) 帖佐理子(薩摩川内市)
- 委託販売 Cuir Hair 仮屋洋子

【国内活動】

- 4月17日 ジャっと新聞No.47号発行
 - 5月7日 堀之内佳武氏事務所訪問
 - 5月14日 古田理事 事務所訪問
 - 5月19日 第15回ジャっと定期総会
 - 5月30日 ペフシ鹿児島(東国原氏)事務所訪問
 - 6月1日 役員変更登記申請(事務局員 泊)
*2年更新(役員は再任)
 - 6月4日 薩摩川内市東郷温泉ゆったり館(ジャっと協賛自動販売機設置) 事務局長帖佐、事務局員泊訪問
 - 6月12日 役員変更登記完了
 - 6月13日 資産総額の変更登記申請
 - 6月18日 古田理事 事務所訪問
 - 6月21日 薩摩川内市役所コミュニティ課に事業報告書提出完了、役員、資産総額の変更登記完了(事務局員 泊)
 - 6月21日 事務局長帖佐鹿児島大学で講義“国際交流のすすめ”
 - 6月27日 会員の増岡氏、泊事務局員がキュア訪問(ラオス雑貨の委託販売依頼)
 - 6月27日 会員神崎氏事務所訪問(ジャっと新聞について)
 - 6月28日 事務局長帖佐鹿児島大学で講義“国際交流のすすめ”
 - 7月9日 ジャっとHP英語版作成・ブログ更新
 - 7月14日 ジャっと理事会(小幡、古田、帖佐、泊)
 - 7月21日 ぎおん祭り出店(薩摩川内市向田公園) 雑貨販売(古田、増岡、宮脇)
- 会費納入のお願い
- 各会員様の会費納入状況(会費有効期限)は、宛名シール内に記載してあります。会費自動引き落としの会員の方は、**8月30日**が引き落とし日です。
- ジャっとの活動は皆様の会費に支えられています。引き続きご支援くださいますようよろしくお願いいたします。机、いす募金は随時募集しております。

郵便局： 0250-2-4746 口座名 JADDO
- 新聞作成 神崎侯至 宮脇美智子 泊 亜希子

じゃっど INFORMATION

★★★じゃっど協賛 自動販売機設置★★★

6月、薩摩川内市の温泉施設「東郷温泉ゆったり館」にじゃっど協賛の自動販売機を設置して頂きました。ペプシ鹿兒島さんと設置者さんのご厚意により、自動販売機での売上の5%がじゃっどへ協賛金として寄付される仕組みになっています。

(お茶10本分の売上寄付で、子供ひとり分の寄生虫の薬を買える金額になります)

※ひきつづき、じゃっど協賛自動販売機を設置して下さるところを募集しています。ご協力よろしくお願い致します。

■薩摩川内市管理指定者(株)エヌ・フーズ

【東郷温泉ゆったり館】



いい汗かいたら
是非じゃっど自販機の
ジュースで一服
してください!

〒895-1106

鹿兒島県薩摩川内市東郷斧淵 1940 番地 1

TEL: 0996-42-2245



★★★ラオスに絵本を送ります★★★

じゃっどは、SVAラオス事務所図書館事業を通じて、ラオスに絵本を送っています。前回は、会員のみなさまにご協力を頂いて、ラオス語の翻訳シールを絵本に貼り、送ることができました。今年度も既に絵本を発送し、シールを貼って送る予定です。(ご協力をお願いします)
←お礼の葉書が事務局に届きました。
ご協力の感謝とともに、ご報告いたします。

◎◎◎ 編集後記 ◎◎◎

♣ 総会が終わって・・・? てことは、もう1年経ってしまった・・・。
休みが取れたら、じゃっど新聞のCDでも開いてみよう。
少しゆとりを感じるかも。(神崎)

♥ 今年度のじゃっど定期総会を終え、ほっと一段落しました。
ただ、今年も会員の出席者が少なく寂しい総会でした。
来年の総会こそは、もっと出席者が多くなるような魅力ある
総会(会合後の催しの企画)にしたいなあと思います。(M・M)

♥ 5月より、事務局スタッフに加わりました。ちょうど「財団法人
自治体国際化協会」の機関誌にじゃっどを取り上げてくださる話があり、
原稿を準備しました。活動履歴を調べていくうちに、じゃっど
のすばらしさを実感しました。(tomari)

★★★ありがとうございます★★★

□薩摩川内市商工会議所の皆様より、新品のTシャツ、ジャンパー、帽子を寄贈して頂きました。次回ツアーでラオスに持参します。
□会員の立島さまのご紹介で、在日ラオスの方に、ラオスでじゃっどが頂いた賞状を翻訳して頂きました。お礼申し上げます。
□じゃっどのラオス雑貨を、会員の仮屋さんの美容室「キュア」(薩摩川内市)にて委託販売しております。ご協力、感謝致します。

次回「じゃっど新聞」は11月発行予定です。実りの秋に向け、よい夏をお過ごしください♪